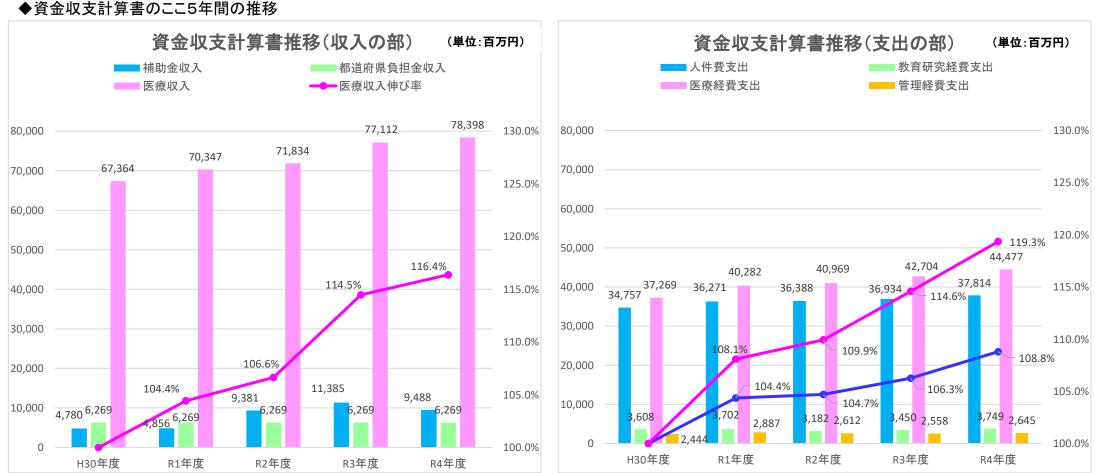
(単位 百万円)

収入の部				支出の部								
科目	R 4決算	R 3決算	差異	科目	R 4決算	R 3決算	差異					
学生生徒等納付金収入	(3,566)	(3,591)	(△25)	人 件 費 支 出	(37,814)	(36,934)	(880)					
手 数 料 収 入	(50)	(56)	(<u>\$\Delta\$6</u>)	教 育 研 究 経 費 支 出	(3,749)	(3,450)	(299)					
寄付金収入	(561)	(513)	(48)	医療経費支出	(44,477)	(42,704)	(1,773)					
補助金収入	(15,757)	(17,654)	(<u>Δ1,897</u>)	管理経費支出	(2,645)	(2,558)	(87)					
国 庫 補 助 金 収 入	2,772	2,855	△83	借入金等利息支出	(0)	(1)	(Δ1)					
地方公共団体補助金収入	6,714	8,527	△1,813	借入金等返済支出	(0)	(133)	(Δ133)					
地方公共団体負担金収入	6,269	6,269	0	施設関係支出	(944)	(603)	(341)					
その他補助金収入	2	3	Δ1	設 備 関 係 支 出	(3,461)	(1,999)	(1,462)					
資 産 売 却 収 入	(2,192)	(2,965)	(<u></u> <u> </u> <u> </u>	資 産 運 用 支 出	(6,877)	(12,161)	(Δ5,284)					
付随事業•収益事業収入	(2,001)	(2,068)	(<u>△</u> 67)	その他の支出	(14,003)	(14,402)	(Δ399)					
医療 収入	(78,398)	(77,112)	(1,286)									
受取利息•配当金収入	(138)	(118)	(20)									
雑 収 入	(950)	(858)	(92)									
前 受 金 収 入	(81)	(94)	(<u>Δ13</u>)									
その他の収入	(19,194)	(17,320)	(1,874)									
資 金 収 入 調 整 勘 定	(\triangle 18,197)	(<u>Δ17,051</u>)	(\triangle 1,146)	資金支出調整勘定	(<u>\(\(\(\)\) (10,489 \) \)</u>	(Δ10,000)	(△489)					
前年度繰越支払資金	(7,599)	(7,246)	(353)	翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	(8,809)	(7,599)	(1,210)					
収入の部合計	112,290	112,544	△254	支 出 の 部 合 計	112,290	112,544	△254					

法人全体の教育研究活動等に伴う全ての収入と支出を明らかにする資金収支計算書における決算額は、112,290百万円となった。

◆資金収支計算書のここ5年間の推移



※上表はここ5年間の資金収支計算書における収入・支出の主要科目の推移を表している。折れ線グラフは平成30年度を起点とした医療収入及び人件費並びに 医療経費支出の伸び率を表している。

事業活動収支計算書

(単位:百万円)

		科			目		R 4決算		R 3決算	差	異		事業	科	目		R 4決算	R 3決算	差	異
		学生生	徒	等級	内 付	金	(3,566) (3,591)	(△25)	教	活動	受取利息・	・配当金	(138)	(118)	(20)
		手	数	Ż		料	(50) (56)	(△6)	育	収入	その他の教育	舌動外収入	(0)	(0)	(0)
		寄	亿	t		金	(543) (518)	(25)	活	部	教育活動を	卜収入計	(138)	(118)	(20)
	事	経常	費等	i 補	助	金	(14,798) (16,293)	(△1,495)	動	事業	科	目		R 4決算	R 3決算	差	異
	業活動	国	車	補	助	金	2,771		2,827		△56	外	活動	借入金章	等利息	(0)	(1)	(Δ1)
	収	地方·	公共	団体	補助	金	5,756		7,194		△1,438	収	支出の	その他の教育	舌動外支出	(0)	(0)	(0)
	入のが	地方·	公共	団体	負担	金	6,269		6,269		0	支	部	教育活動が	大支 出 計		0	1		Δ1
教	部	その	他	の補	亅助	金	2		3		Δ1			教育活動外	収支差額		138	117		21
育活		付 随	事	業	収	入	(2,001) (2,068)	(△67)			経 常 収	支 差 額		711	3,755		△3,044
動		医	尞	収		入	(78,398) (77,112)	(1,286)		事業	科	目		R 4決算	R 3決算	差	異
収		雑	収	ζ		入	(949)) (858)	(91)		活動	資 産 売 カ	却差額	(0)	(0)	(0)
支		教育	舌 動	り収	入	計	100,305		100,496		Δ191		収入の	その他の特	特別 収 入	(1,044)	(1,462)	(Δ418)
		科			目		R 4決算		R 3決算	差	異	特別	部	特別収	入 計		1,044	1,462		Δ418
	事	人	㑇	Ė		費	(37,918) (37,281)	(637)	収	事業	科	目		R 4決算	R 3決算	差	異
	事 業 活	教 育	研	究	経	費	(5,454) (5,192)	(262)	支	活動	資 産 処 🧷	分差額	(166)	(131)	(35)
	動支出の	医	尞	経		費	(49,989) (48,232)	(1,757)		支 出 の	その他の特	持別 支 出	(0)	(0)	(0)
	出の部	管 3	浬	経		費	(3,314) (3,235)	(79)		部	特 別 支	出計		166	131		35
	BP	徴収	不	能	額	等	(3,057) (2,918)	(139)			特別収	支 差 額		878	1,331		△453
		教育	舌動	支	出	計	99,732		96,858	(2,874)	[予	備 費]						0
	教育活動収支差額		額	573		3,638	(△3,065)	基本	金組	入前当年度収	支差額 💥	Α	1,589	5,086		△3,497			
								1								ı			ı	
事	業	活動	収		λ	計	101,487		102,076		△589	基	本	金組入額	合計	В	△306	0		△306
事	業	活 動	支	: E	出	計	99,898		96,990		2,908	当生	₹ 度	収 支 差 額((C=A+B)	С	1,283	5,086		△3,803

事	101,487	102,076	△589	基本	△306
事 業 活 動 支 出 計	99,898	96,990	2,908	当 年 度 収 支 差 額 (C=A+B) C 1,283 5,086	△3,803
基本金組入前当年度収支差額(※再掲:いわゆる損益収支)	1,589	5,086	△3,497	前 年 度 繰 越 収 支 差 額 D △88,659 △95,018	6,359
				基 本 金 取 崩 額 E 0 1,273	△1,273
				翌年度繰越収支差額(F=D+C+E) F △87,376 △88,659	1,283

貸借対照表より

基	:	本	金		合	計	G	243,715	243,409	306
純	資	産	額	(H=G+F)	н	156,339	154,750	1,589

単年度における法人の経営状況を示す事業活動収支計算書では、事業活動収入計が101,487百万円、事業活動支出計が99,898百万円となり、その差額である「基本 金組入前当年度収支差額※」(いわゆる損益収支)は、1,589百万円と法人全体として2年連続の黒字決算となった。

令和5年度については、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したことに伴う公的支援の更なる縮小や光熱費の高止まりなど、より一層 厳しい環境となることが予想されることから、「経営改革推進本部」を中心に、経営改善の取組みを不断に進めていく必要がある。

◆基本金組入前当年度収支	差額(いわ	<u>ゆる損益</u>	収支)と純	資産額の推	主移

(単位:百万円)

▼本本立私入川ヨ十及収入左俄(いわゆる頂無収入/C純貝庄領の作物													
	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
基本金組入前当年度収支差額 (いわゆる損益収支)	4,164	1,695	2,867	2,488	△ 43	△ 2,443	△ 3,537	△ 3,975	△ 5,411	△ 5,136	△ 636	5,086	1,589
純資産額	163,795	165,490	168,357	170,845	170,802	168,360	164,823	160,848	155,436	150,300	149,664	154,750	156,340